

市町村名	宮古島市						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	新城海岸環境整備事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ 観光客受入体制の整備	
担当部課名	観光商工部	観光商工課	事業実施 年度	平成 28	～ 令和 元 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)
事業内容	新城海岸トイレ・シャワー施設における水利用の衛生面を改善し、観光客の利便性向上を図るため、水道管敷設工事を行う。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他()						
事業期間中 の予算額・ 執行額 【単位:千円】		令和元年度	年度	年度	年度	合計	
	A. 予算現額	90,558				90,558	
	B. 執行済額	76,912				76,912	
	うち 交付金充当額	61,529				61,529	
	執行率(%) (B/A)	84.9%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	84.9%	
	執行状況の説明	資材単価及び労務単価の高騰及び岩発生による設計変更等により、8,875千円を増額したが、道路復旧幅を変更する設計変更を行ったことにより、13,646千円の不用が発生した。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
				令和元年度	年度	年度	年度
	水道管敷設工事の業務実施	目 標	工事実施 工事完了				
		実 績	工事実施 工事完了				
		目 標					
		実 績					
		目 標					
		実 績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
				令和元年度	○年度	○年度	○年度
	新城海岸水道管敷設工事業務の完了	目 標	工事完了				
		実 績	工事完了				
		目 標					
		実 績					
		目 標					
		実 績					

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成／進捗状況				
	☐ 中期にわたる事業効果 ☒ 後年度に発現する事業効果			令和2年度	令和3年度	○年度	○年度 目標/発現年度
	観光客の利便性向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。		目 標	80.0%	80.0%		
			実 績	—			
			目 標				
			実 績				
	状況説明	【令和2年度】 ・令和2年度の成果目標については、新型コロナウイルス感染症の影響で空港アンケートを延期したため、6月1日現在データが取れていない。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)				【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)			
【令和2年度】 ・緊急事態宣言解除後に改めてアンケートを実施予定 【 年度】 ・ 【 年度】 ・				【令和2年度】 ・施設の水道管整備に伴い、衛生面及び利便性が向上されるので、今後は、更なる認知度向上や魅力の発信、アクセス方法の紹介に努める必要がある。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・			
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)							
【令和2年度】 ・新城利便施設の適正な管理により、宮古島市を訪れる観光客の満足度を向上させる。 ・観光誘客イベント等で更なる認知度向上や魅力の発信、アクセス方法の紹介等を行う。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・							

市町村名	宮古島市						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	観光拠点施設整備事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－エ 観光客の受入体制の整備	
担当部課名	観光商工部	観光商工課	事業実施 年度	平成 27	～ 令和 1 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	観光誘客及び満足度向上を図るため、伊良部大橋橋詰め広場に観光案内所・特産品販売所・レストラン等の複合的機能を有する新たな観光地拠点施設を整備する。						
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他()						
事業期間中 の予算額 ・執行額 【単位:千円】		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	合計	
	A. 予算現額	267,983				267,983	
	B. 執行済額	259,603				259,603	
	うち 交付金充当額	207,683				207,683	
	執行率(%) (B/A)	96.9%				96.9%	
	執行状況の説明	管理業務委託料の算定基準が改定されたことによる不用額(△2,255千円)と、備品購入費の入札残による不用額(△814千円)が生じた。また、工事においては設計変更にともない増額したものの、入札残による不用額(△5,311千円)が生じた。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
				R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	観光拠点施設の工事	目 標	工事実施	－	－	－	－
		実 績	工事実施	－	－	－	－
	備品購入	目 標	備品購入	－	－	－	－
		実 績	備品購入	－	－	－	－
		目 標					
		実 績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
				R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	観光拠点施設の工事の完了	目 標	工事の完了	－	－	－	－
		実 績	工事の完了	－	－	－	－
	備品購入の完了	目 標	備品購入完了	－	－	－	－
		実 績	備品購入完了	－	－	－	－
		目 標					
		実 績					

事業完了後の取り組み								
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成／進捗状況					
	☐ 中期にわたる事業効果 ☒ 後年度に発現する事業効果			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度 目標/発現年度
	年間利用客数	目 標		—	—	—	37,560人	37,560人
		実 績		—	—	—	34,338人	
	観光客の満足度向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目 標		—	—	—	80%以上	80%以上
実 績			—	—	—	—		
状況説明	【R2年度】 ・年間利用客数は34,338人となり、目標を下回った。 ・新型コロナウイルス感染症の影響によりアンケートを実施することができなかった。							
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)					
【R2年度】 ・開業が6月であったことや新型コロナウイルス感染症の影響により休業した期間があったことを鑑みると、利用客数は目標を下回ったものの、事業効果の発現が確認できた。			【R2年度】 ・販売する土産品/特産品の種類を充実させ、レストランのメニュー開発/改善を行うなど、満足度の向上につながる取組を進めていく。					
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)								
【R2年度】 ・指定管理者と連携を図り、観光拠点施設として多言語対応などに取組むとともに、施設の認知度向上のため情報発信を行い、利用促進に取り組んでいく。								

市町村名	宮古島市						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	観光施設美装化事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－(エ) 観光客の受入体制の整備	
担当部課名	農林水産部	農政課	事業実施 年度	令和 1	～ 令和 1	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	・魅力的な観光地としての景観形成を図るため、竜宮城展望台内外壁を塗装し、壁画を描き入れる。 ・外国人観光客の受入環境整備のため、多言語型の案内板を設置する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他()						
事業期間中 の予算額 ・執行額 【単位:千円】		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計	
	A. 予算現額	10,340				10,340	
	B. 執行済額	10,221				10,221	
	うち 交付金充当額	8,177				8,177	
	執行率(%) (B/A)	98.8%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	98.8%	
	執行状況の説明	事業計画どおりに執行できた。不用額119千円については入札差金である。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度				
	竜宮城展望台塗装改修工事の実施	目 標	工事完了				
		実 績	工事完了				
		目 標					
		実 績					
		目 標					
		実 績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
			R1年度				
	竜宮城展望台塗装改修工事の完了	目 標	工事完了				
		実 績	工事完了				
		目 標					
		実 績					
		目 標					
		実 績					

事業完了後の取り組み								
事業完了後の成果目標	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果		達成／進捗状況					
			R2年度 目標/発現年度	R3年度 目標/発現年度	○年度	○年度	○年度 目標/発現年度	
	観光客の満足度向上が図られたか、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	目 標	80%以上	80%以上				
		実 績	—					
		目 標						
		実 績						
	状況説明	【令和2年度】 ・令和2年度の成果目標については、新型コロナウイルス感染症の影響で空港アンケートを延期したため、6月1日現在データが取れていない。						
		【 年度】 ・						
【 年度】 ・								
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)				【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【令和2年度】 ・緊急事態宣言解除後に改めてアンケートを実施する。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・				【令和2年度】 ・魅力的な観光地にふさわしい景観となっているか、観光客を対象としたアンケートにより本事業のあり方について検証する。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・				
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)								
【令和2年度】 ・施設の適正管理を行うとともに、本事業で制作した壁画がSNS等で観光客の撮影スポットとして投稿されており、今後は新型コロナ収束後の観光リカバリ事業等において更なる周知をはかっていく。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・								

市町村名	宮古島市						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	下地島空港旅客に向けたコンテンツ創出事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－3－(12)－(ア) 観光リゾート産業の振興	
担当部課名	企画政策部	企画調整課	事業実施 年度	平成 30	～ 令和 元	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	2019年3月に供用開始した下地島空港を利用する旅客に向けて、地域の資源・魅力を発信する短時間周遊や体験型プログラム等のコンテンツを創出する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H30年度	R1年度	○年度		○年度	合計
	A. 予算現額	13,133	15,662				28,795
	B. 執行済額	13,133	13,716				26,849
	うち 交付金充当額	10,506	10,972				21,478
	執行率(%) (B/A)	100.0%	87.6%	#DIV/0!		#DIV/0!	93.2%
	執行状況の説明	R1年度は、概算契約の精算時に旅費等の減額による不用額があったが、最終的な執行率は93.2%となり、概ね適正に執行できた。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
				H30年度	R1年度	○年度	○年度
	体験型観光コンテンツ創出業務の実施	目 標	実施	－			
		実 績	実施	－			
	開発コンテンツの強化・改善に向けた委託業務の実施	目 標	－	実施			
		実 績	－	実施			
		目 標					
		実 績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
				H30年度	R1年度	○年度	○年度
	体験型観光コンテンツ創出業務の完了	目 標	完了	－			
		実 績	完了	－			
	開発コンテンツの強化・改善業務の完了	目 標	－	完了			
		実 績	－	完了			
		目 標					
		実 績					

事業完了後の取り組み								
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成／進捗状況					
	☐ 中期にわたる事業効果 ☒ 後年度に発現する事業効果			R2年度	○年度	○年度	○年度	○年度 目標/発現年度
	WEBページへのアクセス数		目 標	2,600件				
			実 績	3,385件				
			目 標					
実 績								
状況説明	【R2年度】 ・開発したWEBページへのアクセス数は3,385件となり、目標を達成した。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・							
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)				【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【R2年度】 ・本事業で制作したWEBサイトへのアクセス数は目標値に達し、多言語化されているため、国内だけでなく海外からのアクセスも確認された。 また、策定したモデルルートのパンフレットをR1年度事業で1,000部作成したがすぐに配布完了となり、R2年度に10,000部増刷した。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・				【R2年度】 ・新型コロナウイルスの影響により下地島空港に就航する国際線が運休となっているが、外国人観光客のリカバリを見据え、旅マエから効果的に情報発信を行うツールとして活用する。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・				
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)								
【R2年度】 ・新型コロナウイルスの収束を見据え、首都圏等で行う観光誘客イベントでのパンフレット配布、WEBサイトの周知を行う。 また、WEBサイトへのアクセス状況や観光トレンドに合わせてモデルルートの見直しなどを行い、魅力的なコンテンツとして維持管理していくことを検討する。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・								

市町村名	宮古島市							
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】								
事業名	来間東航路標識灯設置事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-イ 農林水産業の振興		
担当部課名	農林水産部	水産課	事業実施 年度	平成 30	令和 元	年度 III-1-(6)		
事業内容	安全な夜間航行に資するため、号航路に航路標識灯(灯標)3基を設置する。							
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他()							
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	合計		
	A. 予算現額	11,735	43,670			55,405		
	B. 執行済額	11,735	43,670			55,405		
	うち 交付金充当額	9,388	34,936			44,324		
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%		
	執行状況の説明	・事業計画どおりに執行できた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	・来間東沖標識灯設置工事の実施	目 標	実施設計	設置工事	供用開始	-	-	
		実 績	実施設計	設置工事	供用開始	-	-	
		目 標	-	-	-	-	-	
		実 績	-	-	-	-	-	
		目 標	-	-	-	-	-	
		実 績	-	-	-	-	-	
	事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
				H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
・来間東沖標識灯設置工事の完了		目 標	実施設計業務 の完了	設置工事の 完了	供用開始	-	-	
		実 績	実施設計業務 の完了	設置工事の 完了	供用開始	-	-	
		目 標	-	-	-	-	-	
		実 績	-	-	-	-	-	
		目 標	-	-	-	-	-	
	実 績	-	-	-	-	-		

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成／進捗状況				
	☐ 中期にわたる事業効果 ☒ 後年度に発現する事業効果		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度 目標/発現年度
	・夜間航行における事故発生件数(0件)	目 標	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
		実 績	1 件	0 件	0 件	0 件	0 件
		目 標					
		実 績					
状況説明	【R2年度】 ・航路標識灯設置完了により、昼夜の安全航行、座礁等の事故も無くなり、成果達成状況は順調である。						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【R2年度】 ・航路標識灯設置完了により、昼夜の安全航行、座礁等の事故も無くなり、成果達成状況は順調である。			【R2年度】 ・今後、事故が発生しないよう努める必要がある。				
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)							
【R2年度】 ・航路標識が随時点灯するよう定期的に点検整備を実施。							